

## アンケート集計結果より

横浜市史資料室では、昨年夏写真パネル展及び展示解説と講演を企画・開催しました。ここでは、会場で実施しましたアンケートの集計結果と内容の報告、また皆さまからお寄せいただいた感想・ご意見などの一部を紹介いたします。

### 〈平成二四年度〉

写真・パネル展 占領軍のいた街―戦後横浜の出發

協力 横浜開港資料館・横浜都市発展記念館・横浜市中央図書館  
会期 平成二四年七月二八日(水)～  
九月二七日(月)

担当 羽田 博昭

### 〈アンケート集計表〉

・総回答者数 五五七名  
(男性：四〇四名、女性：二二名、無回答：四名)

・男性七八％、女性二二％

年齢	人数	割合
10代	32名	6%
20代	25名	5%
30代	37名	7%
40代	69名	13%
50代	74名	14%
60代	104名	21%
70代	126名	25%
80代以上	46名	9%
合計	513名	100%

＊小数点以下は四捨五入。

・六〇代、七〇代の方に多く来場いただきました。特にご支持を受けたのは、七〇代男性でした。

・女性は二〇代から七〇代以上までほぼ同率の来場比率で、幅広い年齢層の方から

ご支持をいただきました。

住所	横浜市	
	市内	498名 90%
神奈川県内(横浜市を除く)	33名 5%	
東京都	12名 2%	
その他	14名 3%	
合計	557名 100%	
資料室を	知っていた	264名 48%
	今回初めて知った	286名 52%
合計	550名 100%	

＊小数点以下は四捨五入。

展示を知ったきっかけ(複数回答)	人数	割合
新聞	75名	13%
ちらし	88名	15%
ポスター	84名	14%
中央図書館に 来館・利用中	253名	42%
知人から	26名	4%
当資料室 ホームページ	7名	1%
市史通信	13名	2%
インターネット・ メールニュース	16名	3%
その他	38名	6%
合計	600名	100%

＊小数点以下は四捨五入。

### 〈アンケート集計結果より〉

・横浜市内では、近隣の西区・中区だけでなく、磯子区・金沢区など市内広範囲から多くの方々にご来場いただきました。県内からお越し頂いた方の中には、以前横浜にお住まいだった方も多くいらっしゃいました。

・中央図書館に来館・利用中に展示会をご覧になった方が多く、市史資料室を初めて知ったという方も多くいらっしゃいました。展示会をきっかけに、市史資料室の活動を多くの方に知っていただければと思います。

・新聞の反響も比較的多くありました。

県内・市外からの来場に結びつきました。おおよそ九二％の方から、「とても良かった。良かった」と展示の評価をいただきました。

見ることができたのは初めてで、興味深かった。(五〇代・中区)

### 〈展示の感想より〉

・横浜に生まれ育ち学び生活してきた私は、戦前、戦中、戦後の横浜を全部体験しています。先日も五・二九野毛にぎわい座での横浜空襲祈念の集いで一時間講演したばかりです。思いがまた深まりました。ありがとう。(八〇代以上・栄区)・社会の授業で空襲について調べた。でも、まだまだ知りたいことがあった。ここはその悩みを解決してくれた。(二〇代・中区)・もうすぐ学校で歴史が始まるので、参考になりました！(二〇代・南区)・戦後の占領されていた時代の様子が、写真を通して生々しく伝わってきました。焼け野原となった横浜の町が、現実としてあったのだということを、我々も記憶していなければならぬと感じました。現在との対比がある、なお印象に残ることと思います。(三〇代・鶴見区)・占領されている中でも、「生活」があるという事。そして復興していく中での、市民の明るい表情が印象に残りました。(四〇代・保土ヶ谷区)・占領され追いやられた日本人の状況にあっても、戦争が終わり復興にむかうであろう生活の一部が見られたこと。とにかく焦土の中を生き抜いた人は辛かっただろうが頑張って生き抜いたと人間の力を感じる。(六〇代・鶴見区)・戦後、市街地に米軍関係の施設が多く作られたことは文字からの知識では知っていたが、ビジュアルでこれだけ多面的に

・山下公園に進駐軍の宿舎があったこと。根岸競馬場の写真。(五〇代・南区)・No.二四「横浜橋商店街を行く米兵」。海産物のお店の看板とアメリカ兵士の姿が対照的。(五〇代・西区)・米軍住宅への立入禁止を、英語・日本語で表記している写真。(二〇代・保土ヶ谷区)・終戦後九年くらい経つのに、バラック小屋で生活している写真が印象的でした。米軍はもとより、日本人の間にもかなり復興の格差があったのではないかと感じました。(二〇代・磯子区)・米兵が横浜の街を歩いたり、市民と接する姿は印象的だった。(二〇代・保土ヶ谷区)・カマボコ兵舎と山下公園の将校の家の差。(三〇代・神奈川区)・市役所の建っていた場所に米軍宿舎があった事など。(七〇代・栄区)・伊勢佐木町の不二家が赤十字のヨコハマクラブだったこと。(四〇代・南区)・印刷工場、アメリカ人と日本人が一緒に働く一枚。占領する側とされる側という立場の違いが全く感じられないのが、不思議だった。(二〇代・戸塚区)・米軍の下で働く従業員たちの笑顔。(五〇代・鎌倉市)・占領後すぐにも関わらず、路上で米兵相手に商売をしているおじさんの写真や「キャバレー新世界」という場所が米兵向けにあったということ、とても驚きました。たくましく生きていたんですね。横浜の人たちのスピリットを何か感じ取りました。(二〇代・戸塚区)

〈その他、展示会で寄せられた要望など〉

・横浜の近代建築に関する展示をしてほしい。(二〇代・横須賀市)・戦争のあった歴史を知るためにも、こういう写真展はこれからも取り組んでもらいたい。(三〇代・南区)・金沢区・磯子区の、昭和二〇〇五〇年代埋めたての写真を、展示してほしい。(四〇代・金沢区)・横浜市内の(西・中区)商店街の今昔。(四〇代・西区)・一枚の写真がいろいろなことを伝えてくれると思いました。ありがとうございます。ありました。(四〇代・東京都)・市電が走っていた風景を見たい。区画整理される前の桜木町駅周辺を見たい。(五〇代・鶴見区)・米軍資材の様子が見たい。(五〇代・金沢区)・各区のあゆみを知りたい。(六〇代・港南区)・当時の道路の呼び名(例・ケンタッキー通り)など知りたい。流通していた米軍の軍票なども見たい。もっと沢山展示してほしい。(七〇代・南区)・当時を知っている人がだんだん少なくなる。まだ残っている人の思い出の文章なども集めてみたらどうでしょうか。(八〇代以上・中区)・掃部山の遊郭の写真、地図などの展覧会を企画してください。(八〇代以上・西区)・ユナイテッドクラブについて知りたい。(六〇代・磯子区)

展示解説と講演

「占領の中の横浜・神奈川」

日時 平成二四年八月二八日(土)

午後一時～四時四五分

担当 羽田 博昭

〈アンケート集計表〉

・総回答者数 八三名

(男性：五七名、女性：一五名、無回答：二名)

・男性七九%、女性二%

年齢	40代	7名	10%
	50代	12名	17%
	60代	32名	44%
	70代	14名	19%
	80代以上	7名	10%
合計	72名	100%	

\*小数点以下は四捨五入。

・男女ともに、六〇代の参加者が最多。  
・一〇～三〇代の参加者は少数でした。

住所	横浜市内	74名	90%
	神奈川県内 (横浜を除く)	6名	7%
	東京都	2名	2%
	その他	1名	1%
	合計	83名	100%
資料室を	知っていた	59名	72%
	今回初めて知った	23名	28%
	合計	82名	100%

\*小数点以下は四捨五入。

展示解説と講演を知ったきっかけ (複数回答)	ちらし	29名	35%
	中央図書館に 来館・利用中	12名	14%
	知人から	6名	7%
	当資料室 ホームページ	3名	4%
	市史通信	12名	14%
	インターネット・ メールニュース	9名	11%
	その他	13名	15%
	合計	84名	100%

\*小数点以下は四捨五入

展示解説と講演への 参加理由	マ・ハ テ内の 容興味 興	74名	90%
	下のヘ 領真興 横写の 味	6名	7%
	をた 演き た 講聞 か	2名	2%
	その他	1名	1%
	合計	82名	100%

\*小数点以下は四捨五入

〈アンケート集計結果より〉

・横浜市内では、中区・南区からのご参加が多く、次いで港北区・神奈川区など市内幅広い範囲からご参加いただきました。  
・過去、市史資料室に来室、ご利用いただいた方の参加もあり、認知度が増した。  
・市史通信の発送と共に展示解説と講演のお知らせを同封し、その反響を多く得ることができた。その他、新聞の反響もあった。  
・テーマ・内容に興味を持って参加いただいた方が多く、およそ九四%の方から「とても良かった・良かった」と展示解説と講演の評価をいただきました。

〈感想・ご意見より〉

・占領当時を知る人間がどんどん減っていく状況の中で、貴重な資料収集、分析展示、啓蒙などの仕事は地味だが大切なこと。これを機に自分個人としても、いろいろ調べてみたいと思っています。今日ありがとうございます。 (七〇代・中区)・占領及び占領軍が横浜の文化に与えたメリット・デメリットが少しわかりました。(六〇代・磯子区)・栗田尚弥先生の占領軍の日本占領政策が分かりやすく、大変興味を持った。六七年経過した戦後の日米関係を今一度再検討する良い

機会となった。深謝。(七〇代・港南区)・占領軍から見た横浜・神奈川のお話は今まで知らなかったことなので大変勉強になった。映画は好きで映画史にも関心がありましたので、大島英夫先生の「占領下の文化」の話は興味深く聞くことが出来ました。(六〇代・保土ヶ谷区)・「横浜学」をテーマに、もっと市民講座を開催してください。今回の講演会は、とても良かったです。ありがとうございます。(五〇代・南区)・大変参考になりました。戦後の世相について、さらに展示願います。(七〇代・金沢区)

〈まとめ・今後の展示会に向けて〉

今回の展示会及び展示解説と講演は、実際に占領期を体験した六〇代以上の方々から多くご支持をいただきました。特に展示解説と講演は、これまでにも市史資料室を利用いただいた方の比率が高く、私たちの活動に興味を持ってご参加いただいたことに、深く感謝いたします。開催が夏休みということもあり、一〇代の方々に多く展示をご覧いただいたことも今回の成果です。今後より親しみやすく、分かりやすい展示会、展示解説を目指していきます。

また今回は約五五〇枚、非常に多くの方々からアンケートにご協力いただきました。皆さまからいただきましたご感想を今後の展示会や講演などに生かし、広くご支持を得ていきたいと思っております。なお、今回の展示会及び展示解説と講演の記録は、報告書として発行する予定です。どうぞご期待ください。(木許文子)

## 開架資料紹介

### 横浜の空襲と戦災パネル一覽

横浜市史資料室では、およそ五〇〇枚の空襲写真パネルを所蔵しています。

パネルには、「二斉に煙を吹きはじめた横浜」・「大空襲直後の横浜市街」など横浜大空襲直後の様子や被害状況を物語るパネルも含まれています。写真パネルから横浜の空襲・戦災について知り、過去の戦争を振り返る機会になればと思います。

パネルには横浜大空襲の画像だけでなく、「出征風景 妻と語らう出征兵士」、「学童疎開 子守をする女子学童」など戦時下の様子を写したものが、「ヤミ市(野毛)」、「本牧小港の焼け跡で」、「焼け跡で遊ぶ子ども」など市街地の焼け跡の様子、そこで生活する人々の姿を写したパネルもあります。写真パネルから戦争へ至るまでの歴史を知り、戦中から戦後にかけての横浜、市民生活などを垣間見ることが出来ます。

また、「横浜へ進駐する米第八軍 大さん橋旅具検査所前に集結する兵士」、「米軍トラックを迎える子供たち」など占領軍の上陸風景や、「米兵の姿も見えない露店風景」、「通行者を検問するMP(憲兵)と日本の巡査」など市内で撮影された米兵の姿も多く見ることが出来ます。横浜に上陸した占領軍兵士がごく身近に存在していたことから、占領が迅速かつ大規模に行われたことを感じることが出来ます。

「豊かなPX(売店)の内部」、「ヨコハ

マクラブと米兵(不二家ビル)」など、接収された建物や占領軍施設のパネルも所蔵しています。戦後、米軍の占領下にあった横浜の様子をご覧いただくことが出来ます。

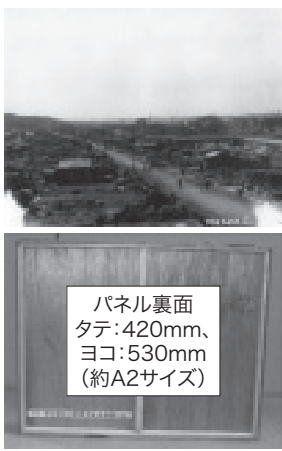
「横浜の空襲と戦災パネル一覽」では、所蔵パネルの全てを画像で確認することが出来ます。また、貸出利用の多いパネル三枚セットのご案内や、利用の多いパネル二枚の紹介も行っております。パネルの年代などの確認には、閲覧室の資料『写真でみる横浜大空襲』を参考にしてください。

市史資料室で所蔵しているパネルは、展示会や授業などで、これまでも多くの団体・学校にご利用いただいています。

パネルは申請をしていただくことで貸出可能です。「横浜の空襲と戦災パネル一覽」や「写真でみる横浜大空襲」でご希望の写真パネルを選択してください。

あわせて、横浜市史資料室では空襲関連の体験記や日記、物資の配給に利用された衣料切符や伝単などの紙票類資料、衣類等の現物資料も所蔵しております。ご利用については、係員にお問い合わせください。皆さまのご利用をお待ちしております。

(木許 文子)  
パネル(罹災後の元町商店街(前田橋付近))



パネル裏面  
タテ:420mm、  
ヨコ:530mm  
(約A2サイズ)

## 《市史資料室たより》

横浜市史資料室は、平成25年1月で開室6年目を迎えました。5周年を記念して、市史資料室では今までに開催した展示会のポスターを貼り出し、紹介しています。

開室からの歩みを振り返り、私たちが行ってきた活動の一端を皆さまに知っていただければ幸いです。

また、閲覧室内には目録コーナー棚も設置し、



所蔵資料の紹介を行っています。過去に行った展示会の資料や発行刊行物も取り揃えておりますので、ぜひあわせてご利用ください。皆さまのご来室をお待ちしております。

\*写真\*閲覧室内「横浜市史資料室目録コーナー棚」

### 【『横浜市史資料室 紀要』第3号の発行】

所蔵資料調査・研究の成果、及び平成24年7月に開催しました公開講座の記録・成果報告、活動記録等をまとめた紀要を発行します。

〈目次〉特集 横浜から昭和を探る—新しい昭和史像を求めて— / 『横浜市史Ⅱ』の頃—市政関係を中心に— / 横浜市史資料室と—アーカイブズを目指して— / 横浜市史資料室所蔵の日記について—戦中・戦後の民衆意識解明のために— / 昭和期(1926-1989年)を見直し新しい歴史像を考えるためのいくつか

の課題、視点、方法 / 公開講座「横浜から昭和を探る—新しい昭和史像を求めて—」討論の記録 / 市史資料室の「公開講座」 / シンポジウム参加記 □横浜市における一般公衆浴場数の変遷—関東大震災からバブル経済期まで— □大正・昭和初期、副業的モモ生産農家の一事例—港北区綱島地区における事例— □横浜市史資料室の活動記録 □資料をご寄贈いただいた方々

### 【報告書『ヨコハマの台所〜高度経済成長期の横浜中央卸売市場〜』の発行】

平成23年度に開催しました展示会「ヨコハマの台所—横浜中央卸売市場の80年—」の成果報告、及び関連所蔵資料の紹介を行う報告書を発行します。

〈目次〉第1部 広報課写真資料で見る横浜中央卸売市場 / 1.本場(水産・青果・建物施設・プロモーション) / 2.南部市場(開場式典・水産・青果・花き・建物施設) / 3.食肉市場 / 4.市場の周辺(バナナの検疫・魚の安売り・捕鯨基地) / 第2部 横浜中央卸売市場の80年  
◎紀要・報告書(1冊:500円)は、市民情報センター(横浜市役所1階)の他、横浜開港資料館、横浜都市発展記念館、横浜歴史博物館、横浜中央図書館ふれあいショップのげやまで販売予定です。

### ◇第15号の訂正◇

①9p、2段目7行目(写真3)→(写真4)  
②11p、3段目7行目「新京」→「京城」  
③12p、市史資料室たより【寄贈資料】⑥山田秀邦様→山田英邦様

### ◇ 休室日のご案内 ◇

4月15日(月)、5月7日(火)、  
6月17日(月)~20日(木)、  
7月16日(火)、8月19日(月)、9月17日(火)

### 【寄贈資料】

- 1 相澤 詔二様 戸塚区関係写真 31点
- 2 染川 春雄様 戸塚区制七〇周年記念DVD2枚組 他8点
- 3 堀池鎌三郎様 戸塚区関係写真(ドリームランド、東戸塚駅建設工事写真等)、PX関係写真 他 21点
- 4 原 龍也様 銭湯掲示ポスター 67点
- 5 幸田 喜一様 『昭和一四年三月 卒業記念写真 横浜市栗田谷尋常小学校』1冊 他6点
- 6 土山 忠滋様 製作関係記録、日記、機関紙よこはま演劇 他710点
- 7 武田 禮子様 都市雨水排除国際会議論文集、下水道局報、感謝状 他1,041点
- 8 刈谷智加恵様 「私の神様」 1点
- 9 吉岡 道子様 『さりんだう 神師附属だより』第2号~第11号(昭和11年2月~昭和14年12月) 10点
- 10 深谷 修様 「戸塚道路 日本道路公園」(葉)1枚、「横浜ドリームランド有料駐車場 サービス券」1枚